

授業科目(ナンバリング)	海外観光資源 A (CB106) (実践的教育科目)			担当教員	竹田 文雄 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
海外の国・地域への関心を高め、以降の国際観光資源の学修の基礎を固めることに主眼を置く。 ・主に地理、観光、世界遺産、名物料理、を把握しながら、その地域の観光資源を理解する。 ・総合旅行業務取扱管理者試験「海外観光資源」出題に対応する基本知識を学修する。 ・対象地域は、南北アメリカとヨーロッパとする。							②⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	対象国の観光資源について、その所在地、特色、観光的見どころ等を理解し、説明することができる。					・授業内試験	50%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	学内外での授業への積極的な参画、およびアクティブラーニングの実践ができる。					・授業参画度	20%
協働・課題解決力							
多様性理解力	主要観光資源の歴史的、文化的背景の多様性を理解し、説明することができる。					・授業内小課題	30%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業内小課題 20 点 (授業の理解度及び課題解決力の達成度。ポートフォリオを使用して適宜実施。) 授業内試験 60 点 (授業の理解度。) 授業参画度 20 点 (授業課題への取組み姿勢、質問・コメント等の有無とその回数。) 諸々のフィードバックは、ポートフォリオおよび授業時間内に適宜実施していく。							
授業の概要							
担当教員の海外旅行事業実務経験と知見を踏まえた実践的授業である。この授業は、①予習：教科書の事前読み込み、②授業時：各観光地解説とビジュアル資料使用による理解の深化、③復習：授業での説明ポイントを教科書で再確認、のサイクルにて学生が自発的に学修することで、確実な認識と理解を定着させることを主眼とする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：『旅行業実務シリーズ⑦ 海外旅行実務－海外観光資源』JTB総合研究所 参考書：授業中に適宜紹介。 指定図書：『ヨーロッパものしり紀行』くらしとグルメ編 紅山雪夫著 新潮文庫							
授業外における学修及び学生に期待すること							
総合旅行業務取扱管理者試験対策は、知識の積み上げが必要なので予習と復習による知識の定着が不可欠であるが、受講に際してはまずこの地域に興味を持ち、現地に行ってみたいと感じて欲しい。また日頃から世界地図を頭に描けるように世界の動向に注目していくことに期待する。 「欠席・遅刻・私語・出席登録後の退出」の無い授業への参画を期待する。 また他の学生に迷惑をかけないように留意しながら受講すること。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習 ・教科書読みが中心。 ・予習は書き出すこと。
1	授業の導入 アメリカ合衆国（1）	授業の進め方のガイダンス。 アメリカ合衆国東部観光資源とその特徴を概観する。	米国東部の観光資源、マウン トラシュモア、世界を照 らす自由について。
2	アメリカ合衆国（2）	アメリカ合衆国西部観光資源とその特徴を概観する。	米国西部の観光資源、ラス ベガス、マウナケア山につ いて。
3	カナダ・メキシコ・中南米諸 国	カナダ、メキシコと中南米諸国の主たる観光資源とそ の特徴を概観する。	対象諸国の観光資源、ケベ ック、アステカ・マヤ・イン カ文明について。
4	オランダ	オランダの観光資源とその特徴を概観する。	オランダの観光資源とフ ェルメール、ライクスミュ ージアムについて。
5	イギリス	イギリスの観光資源とその特徴を概観する。	イギリスの観光資源と国 を構成する4カントリー の特徴について。
6	北欧諸国	ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フィンラン ド4カ国の観光資源とその特徴を概観する。	スカンディナヴィア諸国 の観光資源とフィヨルド、 スオミについて。
7	ドイツ	ドイツの観光資源とその特徴を概観する。	ドイツの観光資源とロマ ンチック街道とその3つ の城壁都市について。
8	スイスとオーストリア	スイス、オーストリアの観光資源とその特徴を概観 する。	両国の観光資源とユング フラウ三峰、グリーンデルワ ルドについて。
9	フランス	パリとフランス各地域の代表的な観光資源とその特 徴を概観する。	フランス各地域に広がる 観光資源について。
10	フランス / イタリア	フランス各地域の代表的な観光資源、および ローマ、ヴァチカン市国の観光資源とその特徴を概観 する。	古代ローマ遺跡、ヴァチカ ン市国に広がる観光資源 について。
11	イタリア	その他のイタリア都市の観光資源とその特徴を概観 する。	その他イタリア各地域に 広がる観光資源について。
12	スペインとポルトガル	スペインとポルトガルの観光資源とその特徴を概観 する。	イベリア半島の観光資源 とバスク地方、サグラダフ ァミアリアについて。
13	ロシアと東ヨーロッパ諸国	ロシア、チェコ、ポーランド、ハンガリー、バルト3 国などの観光資源とその特徴を概観する。	各国観光資源とウラジオ ストック、カルロヴィ・ヴ ァリ、カレル橋について。
14	ギリシャとその他の国・地域	ギリシャとその他の国々の観光資源とその特徴を概 観する。	ギリシャの観光資源とパ ルテノン神殿、スパルタ、 メテオラについて。
15	総復習 授業内試験	総復習。 これまでの学修内容の習得度、理解度に関して試験を行 う。	予:14週までの授業全体 のレビュー。